

投資事業評価調書（継続）

部課室名	農林水産部 総合農政課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 廣田道夫 (課長補佐 小川至紀)	内線	3927 (3946)
------	----------------	---------------------	------------------------	----	----------------

事業種目	総合整備	事業名	事業区間	総事業費	35億円
		農村総合整備事業	赤穂地区	内用地補償費	2億円
所在地			事業採択年度	着工年度	完成予定年度
赤穂市目坂、折方、有年原ほか			H4年度	H4年度	H15年度
			進捗率(内用地補償費進捗率)		
			89%(94%)		

事業の目的		事業内容		
<p>赤穂市は南部の市街地と比べ、北部の農村地域は、下水道や集落内道路等の整備が遅れており、それら生活環境整備と併せて生産基盤条件の改善をし、農村の持つ良さを活かした快適な生活空間を創出し、地域の活性化を図る。</p> <p>（下水道は、市街地においては S49 年度からいち早く整備され、H4 年度時点では 80%の普及率であったが、農村地域は未整備であったなど、快適さ・利便性の面で格差が生じていた。）</p> <p>事業主体：赤穂市</p>		事業内容	全体事業量(事業費)	14年度以降(事業費)
		生産基盤【国 50% 県 20% 市 15% 地元 15%】		
		ほ場整備 ほか (3 団地 22.1ha)	31 か所 (14.5 億円)	2 か所 (1.9 億円) (ほ場整備・用排水路)
		生活環境基盤【国 50% 県 0、10% 市 50、40%】		
		農業集落道整備 ほか (13 路線 8.4km)	35 か所 (18.1 億円)	1 か所 (1.0 億円) (集落道)
		その他【国 50% 県 0% 市 50%】		
		多目的共同利用施設	3 か所 (2.2 億円)	1 か所 (0.9 億円)
		合計	69 か所 (34.8 億円)	4 か所 (3.8 億円)
		【 】は負担区分		

進捗状況	全体 69 か所のうち、H13 年度末までに 65 か所の整備が完成し、H14 年度以降引き続き 4 か所において継続する。これらは内容の見直しによるか所数の追加と他工事との調整により、完成年度が延伸したものであり、地元体制等も整っており、H15 年度には全て完成する見通しである。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価視点	評価結果の説明
------	---------

(1) 必要性	事業実施により、下水道はほぼ市街地並みの整備水準に達したとともに、集落内道路も計画的に整備され、安全性の確保が図られるようになった。また、地域づくりの拠点である多目的共同利用施設を整備した地域においては、特産品づくりのための女性グループが結成されるなど、活発な地域活動が行われており、生産基盤等の整備と併せ、快適な生活空間が創出されており、地域の活性化に貢献している。 継続する 4 か所についても、目的に沿った整備であり引き続き実施する必要がある。 状況の変化と地域住民のニーズにより、H7 年度と H12 年度の 2 回、事業内容の見直しを行っており、4 か所の継続が所も着実に実行する必要がある。
(2) 有効性・効率性	生産と生活の場である農村を一体的に整備することにより、定住のための基礎的条件的整備ができるとともに、今後の活力ある地域づくりが期待できる。 投資効率は 1.20 である。 地元体制の整備や用地取得の見込みも立っている。
(3) 環境適合性	農村地域のもつ美しい自然環境や景観に配慮した整備をしている。(例えば、自然石を利用したため池ののり面整備。)
(4) 優先性	H14 年度以降も引き続き実施するか所は、いづれも都市部との均衡ある発展のための基礎的な整備であり、快適なまちづくりを進める本市にとって推進する必要がある。

再評価の結果	継続妥当	左の理由	上記内容により継続が妥当と認められた。
--------	------	------	---------------------